

平成三十年

当初予算

201億300万円

【一般会計】

平成三十年度一般会計当初予算は、前年度当初予算と比較し二・〇％減の二百一億三千万円となったものの、平成二十八年度から三年連続で二百億円を超える積極型予算になりました。

歳入では、県支出金や財産収入を増額計上する一方で、ふるさと納税の減少を見込んだ寄附金の減額、国の財政計画などを踏まえた地方交付税の減額を見込んでいます。

歳出では、新年度に市制施行六十周年を迎えるにあたり、各種記念事業を計上しました。

また、教育によるまちづくりの推進に向け、大富中学校武道場新設工事、国際理解をはぐくむ学校教育支援事業を新規計上したほか、英語指導助手を増員し外国語教育を充実させるため、語学指導事業を拡充して計上しました。

さらに、認定こども園の開設や学童保育所の開所など、児童福祉施設の充実をはかるとともに、東の杜資料館再開館に向けた運営事業、就農ファーストステップ支援事業、GI東根さくらんぼブランド化推進事業等、本市の魅力を向上させる事業を多数計上しています。

一般会計		
会計名	予算額	前年度比(%)
一般会計	201億300万円	△ 2.0
特別会計		
※特別会計とは、特定の歳入を特定の歳出に充てるもので、一般会計の歳出と区分する必要がある事業などの場合に設置されています。		
会計名	予算額	前年度比(%)
特別会計合計	113億5,330万円	△3.7
国民健康保険	44億9,700万円	△15.5
東根財産区	150万円	25.0
公共下水道事業	20億7,600万円	1.2
介護保険	42億4,900万円	7.7
市営墓地	180万円	0.0
後期高齢者医療	5億2,800万円	13.5
企業会計		
※企業会計は、収益的支出の予算額を掲載しています。		
会計名	予算額	前年度比(%)
水道事業	11億5,423万4千円	2.3
工業用水道事業	2億1,662万4千円	0.9

財政用語解説

その1 「歳入」編

■市税

皆さんが市に納める税金

■繰越金

前年度から持ち越すお金

■繰入金

主に各種基金の取り崩しによって繰り入れるお金

■地方交付税

所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されるお金

■国・県支出金

特定の目的のために、国や県から交付されるお金

■市債

市の借金のこと
事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金

■地方譲与税

国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

■自主財源

市が独自に得ることができるお金

■依存財源

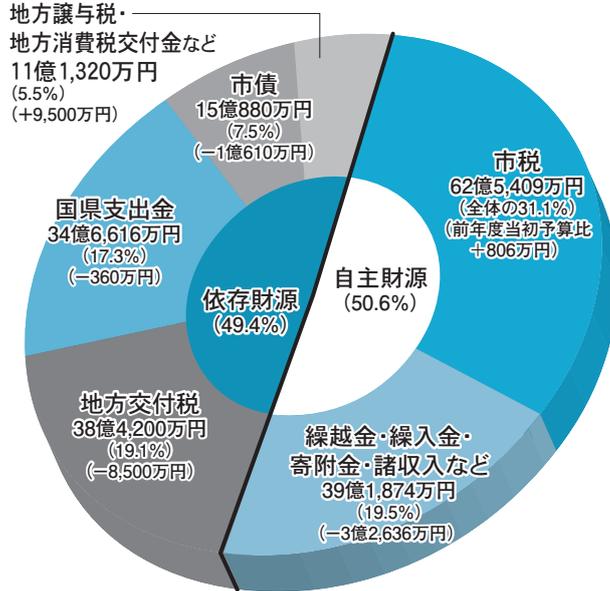
市税、分担金負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入など
国や県から交付されたり、借り入れるお金
地方交付税、国・県支出金、市債、地方譲与税など

一般会計予算の概要

地方消費税交付金について

平成29年度決算見込や地方消費税精算基準の見直しによる影響などから、増額を見込んでいます。

歳入 201億300万円



市税について

平成29年度決算見込や景気動向を踏まえ、市民税での増額を見込む一方、評価替えの影響による固定資産税、都市計画税の減額を見込み、全体では0.1%の増を見込んでいます。

評価替えの影響はあるものの、景気動向などによる市税の増収等により、自主財源が全体の50.6%となり、昨年度に引き続き5割を超えました。

繰入金、寄附金について

繰入金は、神町小学校改築に向けた用地購入費への学校建設基金からの繰入額が大きく減少したことから、減額を見込んでいます。

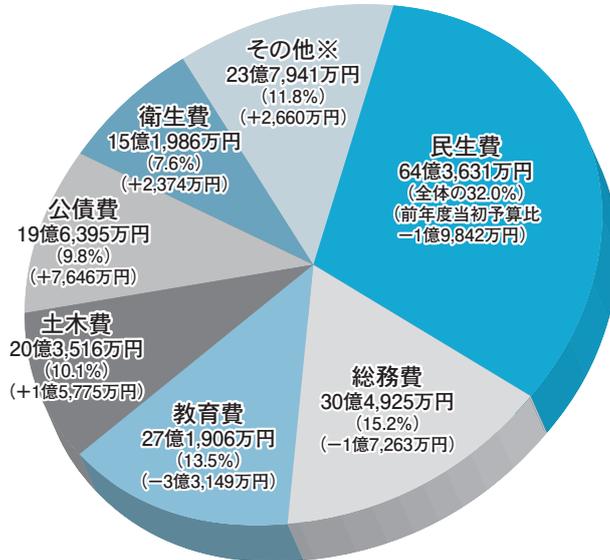
寄附金は、ふるさと納税に係る寄附金の減額を見込んでいます。

教育費について

大富中学校武道場の整備に係る費用や国際理解教育の充実に係る費用を新たに計上するとともに、神町小学校改築事業、学校トイレリニューアル事業、東の杜資料館リニューアル事業を継続して計上しています。また語学指導事業を拡充して計上しています。

一方、神町小学校改築に係る用地購入費の縮小により、全体として大幅な減額を見込んでいます。

歳出 201億300万円



民生費について

小田島学童保育所の新設や大森学童保育所の追加整備をはじめとする、各種児童福祉施設の充実に伴う関連経費を増額して計上しています。

一方、前年度に実施した民間保育所などへの整備補助が完了したことで、全体として減額を見込んでいます。

総務費について

市制施行60周年の節目の年を迎えるにあたり、市制施行60周年記念事業を新規計上しています。また、国際交流を更に推し進める年として国際交流事業や国際交流員配置事業を継続して計上しています。

一方、ふるさと納税制度の見直しに伴う影響により、全体として減額を見込んでいます。

土木費について

市道除排雪事業を増額計上したほか、小型ロータリー除雪車の購入経費を計上し、全体として増額を見込んでいます。

※その他は、農林水産業費・商工費・消防費など

その2 「歳出」編

民生費

子どもや高齢者などを対象とした福祉事業に使われるお金

総務費

市報や庁舎管理など、市の一般的な事務に使われるお金

教育費

公民館や小中学校、文化活動などに使われるお金

土木費

道路、橋、公園などの整備や維持に使われるお金

公債費

借り入れたお金の返済に使われるお金

衛生費

乳幼児の健診事業やごみの処理などに使われるお金

農林水産業費

農林業の振興などに使われるお金

商工費

商工業の発展、観光振興などに使われるお金

消防費

消防活動に使われるお金

*平成30年に実施される主な事業の予算額は、5〜8ページに掲載しています。